



安心をベースに、心ゆたかな高年生活

藤井寺  
 フィレンツェライフ青山  
 Firenze Life Aoyama

2015年 第6号

# 百合通信

ゆりつうしん

## 笑顔リレー

私たちは、ご入居者とご家族とのふれあいを大切に、  
 笑顔のリレーをつなぎます



大阪府下  
 フィレンツェライフ青山が  
 老人ホームランキングで **2位** を獲得!

安心をベースに、心ゆたかな高年生活

藤井寺  
 フィレンツェライフ青山  
 Firenze Life Aoyama

## フィレンツェライフ青山の心地よい空間

フィレンツェライフ青山では、訪れた方々から「二十二年も経ったとは思えない佇まいの中に何とも言えない、心地よい空気感がありますね」とお褒めの言葉を頂くことがあります。

当ホームの設計士の板垣和秀氏に二十数年前に遡る「始まりの物語」からフィレンツェライフに漂う空気感の理由を尋ねてみました。

当時創始者と板垣氏は、四十代。優雅で古典的な雰囲気、そのイメージがイタリアだったそうです。またイタリアと言えばルネサンス「人間の再生・再興」の意味。日本流で言うところのセカンドライフ、それならルネサンスの中心地であるフィレンツェと命名しようではないかとホーム名が決まり、本物を見るためにフィレンツェに何度も足を運んだそうです。心地よいこの街の雰囲気が再現できれば、ご入居の皆様にも上質な時間が提供できると建築に情熱を注ぎこんだ由縁があります。また、広いロビーを飾る絵画も、フィレンツェをこよなく愛する画家の作品で、彼の高台の自宅から見えるフィレンツェの街の景色からは、人々の生きる力と町並みの古さと異なる経年変化の美しさが感じられます。

皆様が等しく感じて頂ける心地よさの理由は、それぞれの思いと共に運ばれてきた現地の風や匂い、語りかけてくる物語にあるのかもしれないと感じ益々愛着が湧いてきました。これからもご入居の皆様方にゆったりと心地よくお過ごし頂くために年月が作り出したこの雰囲気を大切にしていきたいと思っております。



施設長  
尾谷 弘美

## 俳句会

(第百八十八回)

# 初秋

日常のささやかな出来事を句にして毎月掲示しています。  
投稿頂いた句の一部をご紹介します。

### 俳句

- しのびよる秋の気配やこおろぎなく(M.K)
- 日脚のぶ亡母の遺影の物悲し(M.K)
- 精一杯今を生きてる球児よし(M.K)
- 城下町ソーリヤソーリヤの槍廻(Y.S)
- 秋刀魚焼く匂ひなつかし夕厨(S.T)
- 満月を寮の窓辺に翹ひけり(S.T)
- 借景は玻璃の星空新ばしり(O.M)
- 今年米一汁一菜あればよし(O.M)

### 川柳

- 盆置いて開ける気配の秋障子(S.T)
- 月天心 玻璃にたわむる風の騎(O.M)
- 景色よりトイレが気になる観光地(O.T)
- 無病では話題に困るOB会(O.T)
- 歩こう会アルコールかと聞き違え(O.T)
- 今日も又携帯生命朝歩く(Y.S)
- 愛読書たった一人の老い支度(Y.S)
- 待ち遠しフィレンツェシアター毎度見る(Y.S)

## 俳句と川柳の投句を募集しております。

俳句は自然を対象に詠みます。一方で、川柳は、現代の風刺や毎日の生活の様子を書きます。ユーモアのセンスで笑いを誘うところも魅力で、川柳の句も増えてきました。ご興味のある方、初心者の方ももちろん、気さくに投句をよろしくお願い致します。

フィレンツェライフ青山あの人に

## インタビュー

フィレンツェライフ青山で

### 安心して暮らす 自由な毎日

尾谷：今日はフィレンツェライフ青山に入居されて早20年。O・T様にお話を伺います。早速ですがフィレンツェライフ青山に入居をお考えになったきっかけをお聞かせ頂けますか？

O様：50代後半に家内から老人ホームがあるって聞いてはいたんですけどね、その時は

まだそう切実には感じてなかったんですよ。しかし私が60歳の時に家内が亡くなりまして、その時に心労から急性肺炎で入院をしまして、子供がなかったので近所の人に迷惑をかけてしまったんです。そして家内の七回忌を終えた平成7年1月17日に阪神大震災が起きまして、また周囲の人に心配をかけてしまったんですよ。それで自分は一人じゃない、みんな思ってくれているからこそ元気なうちに自分のことは自分でちゃんとしようと思って有料老人ホームへの入居をまじめに考えだしました。

尾谷：入居先としてフィレンツェライフ青山をお選び頂いた理由はなんですか？

O様：入居を考えだしてから介護付き有料老人ホームをあちこち見に行くことにしたんです。その時にたまたまテレビでフィレンツェライフ青山のコマーシャルを見ま



して、一度体験入居してみようと思っただけです。その時に当時の施設長や担当の方の話を聞いて、自分の思ったことも話して、ここから自分の老後を託してもいいかなと思っただけです。終の棲家ですからね、一生一度の決断でした。今では良い決断をしたなと思つています。

尾谷：85歳の現在もお元気でいらつしゃいますが、秘訣はありますか？

O様：自分でできることは自分でする、自分で何かをしようという気持ちが大変だと思えますね。65歳でこちらに入居してからも会社勤めをしていたんですが、70歳で離れたあとに書道師範の資格をとり、教授の資格もとりました。今でも月に2回ないし3回は施設外の教室で講師をしております。新しいことを始めるのに歳は関係ありません、歳を考えていたら何も始めら

れませんよ。自分の生き様、生き方を自分でどう律していくか、そういう気持ちが大変なんだと思います。そして自分のこれから先のことについて不安が一つもない、フィレンツェに全部任せているのも元気でいられる秘訣だと思います。

尾谷：ありがとうございます。

O様：私は介護士さんたちのお世話は受けておりませんが、誰かがいつも私を見守ってくれている。私の様子に変化があると「Oさん、どうしましたか？」と声をかけてもらえる。

その安心感があるから自由に好きな事ができています。

尾谷：私たちも自由に暮らしていると頂いているのは嬉しいです。



整理整頓されたO様の居室



祝 百歳のお祝い

M・H様  
大正5年1月19日生



おめでとうございます



来年1月に百歳をお迎えになられるご入居者がおられます。

内閣総理大臣、藤井寺市長よりお祝い状と記念品を受けられました。

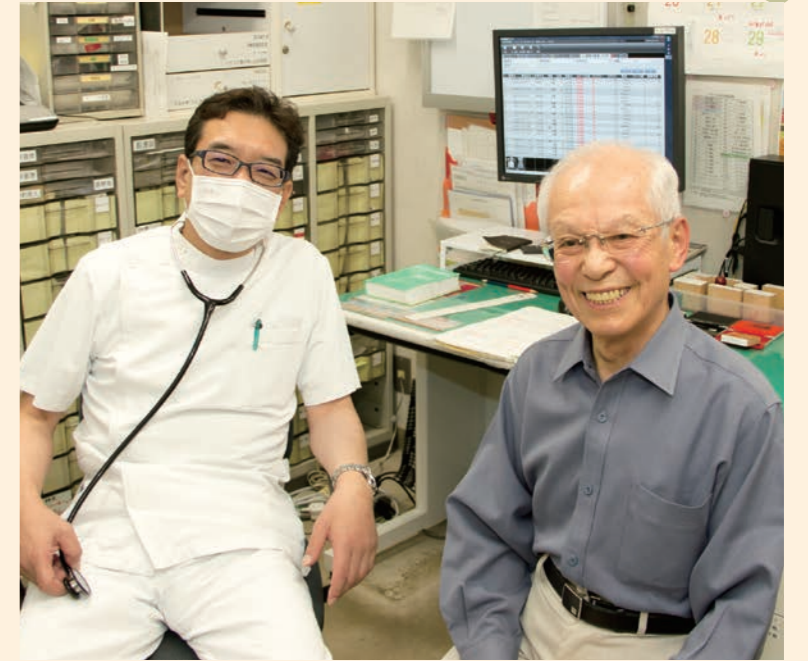
ホームでも、10・11・12月生まれの誕生日会を開催して、皆でM・H様の百寿のお祝いを致しました！

当日にはご家族が駆けつけられ共に百寿をお祝いされ、お元気でこの日を迎えられた事をお慶びになられていました。

今後共、お体を大切に健やかに過ごしていきますよう心より祈念申し上げます。



〇様…この歳になると一日一日が大事です。自分が死ぬまで、安心してここで暮らせるんだという安心感がそういう心境にさせるんですね。部屋や設備が良いただけではダメ。それを動かす職員さんたち、統括する施設長が一体となって入居者に安心感を与えてを拝見しても毎日を大切に暮らしていらっしゃるのを感じますね。



主治医の牧野先生と談笑される〇様

〇様…こちらこそ、これからもよろしくお願ひし  
ます。  
尾谷…そう言って頂けて私たちは幸せだなと思  
います。これからも安心して皆様が自由にご  
自分らしく過ごして頂ける場所であるよ  
う、日々努力して参ります。今回は貴重な  
お話をありがとうございました。  
我が家のように感じて生活をエンジョイさ  
せてもらっています。  
高です。本当にここは良いところです、最  
くれる。



～新しいレクリエーション～

レクリエーションからの贈り物

五感を使うため  
感性が  
豊かになる

運動不足を  
解消する

リラックス  
できるため  
コミュニケーションが  
取りやすくなる

楽しみながら認知症予防をして頂けるよう  
様々なレクリエーションを行っております

**押し花アート** (月1回)

お花の持つ繊細さや美しさを感じながら  
作品ができあがっていく感動は素晴  
らしいものです。  
季節の花々が語りかけてくれる言葉に、  
心豊かになることでしょう。



**手づくり工房** (月1回)

「きめこみパッチワーク」改め「手づく  
り工房」として楽しんでいただいでい  
ます。  
きめこみや様々なクラフト作品をそれぞ  
れのペースで仕上げておられます。



**お抹茶の会** (不定期)

季節の和菓子とまろやかに泡立つ抹茶  
を味わう時間は心静かになれるひとと  
きです。  
ご入居の皆様は華麗な手つきで茶筌を  
ふるっておられます。



その他の  
レクリエーション  
活動

- 書道の会
  - お話の会
  - 絵手紙
  - カラオケ
  - 俳句の会
  - 映画会
  - ハッピーヨガ
  - お手玉の会
  - 楽華の会
  - 歌声サロン
  - 歌の広場
  - 健康麻雀
  - 社交ダンス
  - ビリヤード
- など

# フィレンツェライフ青山の スタッフコミュニケーション

創設より23年を迎え、ご入居者の年齢層も様々で、お一人お一人の生活ニーズに合ったサービスを提供し満足して頂くことが、私たちの願いであり、使命でもあります。  
その為には、スタッフ同士の連携や情報共有がより良い形で保たれ、ご入居者に喜んで頂けるサービスが継続して出来るように、スタッフの笑みを絶やさない事に創意工夫が大切だと感じています。

## FREE HUGS -フリーハグス-

今年に入り「FREE HUGS」という取り組みを職員全員で行っております。

### FREE HUGSとは

2001年にアメリカで始まり、今や世界各地で行われている「見知らぬ誰かとHUG (抱擁)をする事で、素晴らしい何か(愛・安心感・温もりなど)を生み出す」という活動であります。

HUG (抱擁) 以外にも、手や肩にそっと触れ合い、関わりを持つだけで様々な効果が期待でき、こうした「ふれあい効果」には、<sup>かんのうししょうかぶ</sup>間脳視床下部ホルモンである「オキシトシン」の分泌を促進すると言われていました。「オキシトシン」は出産や授乳に<sup>じゆうじゆう</sup>関与しているとされていましたが、最近の研究によると、触れ合っている人々の不安やストレスを和らげる心理的効果もあると報告されています。

7月には、有料老人ホーム協会主催の西日本事例検討発表会が開催され当ホームでは、「フリーハグス～心の距離感0を目指して～」と題し、施設をあげて実施した「フリーハグ」の取り組みと成果を発表致しました。ご入居者の生活の質の向上、介護の質の向上を目指した取り組みです。



## 職員同士のふれあいと情報共有

毎朝の朝礼で、スタッフが笑顔でハイタッチや握手を行い、ふれあい機会を増やす事でスタッフ一人一人の不安やストレスを和らげ、笑顔や温もり・安心感のあるサービスをご入居者に還元できるように常に意識して取り組んでおります。

また、情報共有という意味では、毎日15時30分より各部署のスタッフがその日のご入居者の様子をそれぞれ専門的な角度から話し合い、要望や苦情なども真摯に受け止めながら、一つ一つの問題を解決するべく365日休まず話し合いの場を設けています。

昨日よりも今日、明日とご入居者に愛されるフィレンツェライフ青山を目指し、スタッフ一丸となって今後も活動して参ります。皆様これからもよろしくお願い



## お誕生日会



3ヶ月に一度、お誕生日会を開催致します。ご入居者の協力も得て毎回趣向を凝らしボランティアの方々と共に大切な記念日をお祝いしております。



## 屋上ガーデニング

(年4回)

皆様は適度な運動を伴う作業で汗を流され、共同作業に会話も楽しく弾み屋上は大賑わいです。



## 車窓見学

4月2日

大井浄水所と四天王寺大学の桜を見学し、春のおとずれに心も踊り笑顔満開になっていただきました。



## 遠足

### 花咲き誇る淡路島と中華ランチツアー



4月27日

奇跡の星の植物館での珍しい植物を見学後、円卓を囲んでの中華ランチに舌鼓をうち、明石海峡大橋で潮風を浴びながらの記念撮影を撮り楽しい一日を過ごしていただきました。

## 遠足

### 神戸動物王国 日帰りツアー

5月18日

神戸までのバス内では恒例のクイズ大会で盛り上がり、到着後はバイキング料理でお腹を満たしていただき、動物王国では可愛い動物たちとふれあい笑顔いっぱい・癒したっぷりの素敵な一日でした。



## PL花火鑑賞



8月1日

フィレンツェ屋上にてPL花火の観賞とともに皆様には、かき氷と冷たい飲み物でおもてなし致しました。今年は風向きも良く綺麗な花火鑑賞ができました。

## 敬老祝賀会

9月19日

華やかな阿波踊りと職員をまじえての花笠音頭に皆様も一緒に踊っていただき、とても楽しかったとお声をいただきました。



## 秋の収穫祭

### 芋ほり

10月14日

5月15日に大きく育てと祈りを込め苗植えをし、期待通りの大収穫。秋の実りを堪能していただきました。

## クリスマス会

26年12月13日

某ウィンドオーケストラ様によるコンサートに聴き惚れ、カラオケ大会ではご入居者と職員とのデュエットで盛り上がり、毎月のレクリエーションの「ハッピーヨガ」から、ストレッチと「笑いヨガ」で心と身体もリフレッシュ。来年も笑う門には福来る！



## 新年の会

27年1月10日

元旦や上々吉の浅黄雲

(小林一茶)

よき一年でありますように近隣自治会の方々もお招きし、今年もお茶席と和太鼓・獅子舞で新年をお祝い致しました。





# 診療風景

## 各担当ドクターご紹介



### 樋川 利恵

(青山病院内科)

治療にはしっかりと時間をかけ、おひとりおひとりの話をゆつくりと聞いて頂ける先生です。お話をされて、ご入居者と同じ目線になつて診察したいという気持ちがひしひしと感じられます。



### 橋塚 省三

(青山訪問診療)

いつも笑顔で優しくお話を聞いて下さるの  
で、ご入居の皆様も安心されています。



### 牧野 泰博

(青山病院院長)

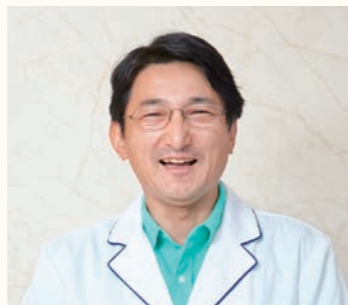
不安を持っている方に、まずは安心して頂くことを考えて診察されています。治療もさることながらその方の生活を一番に考えて、厳しい食事制限などはなるべくしないように配慮頂ける先生です。



### 芝元 啓治

(しばもとクリニック院長  
心療内科)

ご入居者それぞれに合わせた話題で世間話をされながらリラックスした状態で正確に診療し、その方に合う薬を考えて頂きます。



## 母の最期を振り返って

「フィレンツェで看取って頂いて母は幸せでした。そう仰るのは、先日 93歳で最期を迎えられた Y・C 様(以下、C 様)の息女である、Y・K さん(以下、K さん)。今回、改めて C 様のお話を伺いました。

### 母が見つけた終の棲家

商社に勤めるキャリアウーマンだった C 様は定年を迎える前に退職され、教師をしていた K さんの代わりにお孫さんのお世話をしていたらっしゃいました。C 様は何度か体調を崩すことがあったようですが、いつも元気に振る舞い、恐らくご家族に心配をかけないためでしょう、60代後半に自身の将来を考え入居施設を探し始められました。K さんとお孫さんがそのことを知ったのは、C 様がフィレンツェライフ青山に入居を決められた後だったそうです。



若かりし頃の C 様

当時は C 様の突然の決断に心配していらっしやうった K さんでしたが、お母様を送られた

今、「母は本当に良いところを見つけてきたと思います。母の選択に間違いはなかった。」  
そう語って下さいました。

### 作品から感じ取れる人柄

能のお話や裁縫、書道、美容師免許の取得まで(!!)、興味を持つたことはきつちりしないと気が済まない C 様。その中でも晩年に没頭されていた押し絵は、どの作品も隅々まで丁寧な描かれ、観る者の心を温かい気持ちにする不思議なパワーを持っています。K さんのご厚意で今後も春夏秋冬、絵柄を替えて施設内に飾らせて頂くこととなりました。



お母様の作品をご覧になる K さん

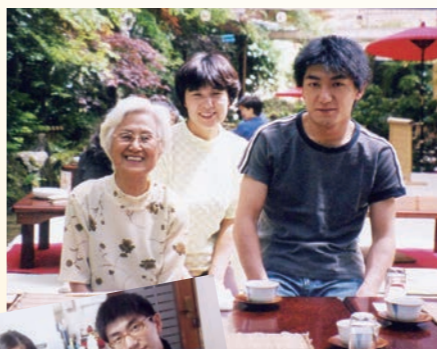
### 幸せな最期を

「湯灌の際、納棺師さんが母の体が綺麗なことに驚いていました。」  
納棺師さんのお話では寝たきりで床ずれがないのは珍しいとのこと。それを聞いた K さんは感動を覚えられたそうです。  
「若い頃は苦労していましたが、最期はフィレ

ンツェの皆さんに良くして頂き母は幸せだったと思います。」

施設で晩年を過ごすという選択をされた C 様。最期の時を「幸せ」と思っただけで頂けたのなら、私たちにとって大変喜ばしいことでもあります。そして誰しも必ず訪れる「その時」をどのように迎えて頂くのかをこれからも職員全員で向き合っていくまいります。

Y・C 様とのご縁に心より感謝いたします。



商社にお勤めの頃の C 様

フィレンツェライフ青山は、「看取り」を行うホームです。  
「看取りの指針」をご入居者やご家族にご説明し、同意を頂いております。  
終の棲家に当ホームをお選び頂き、その方らしいその方の望む終末期のお話もお伺い致します。  
詳しくは看護部までお声かけ下さい。

今井 眞理 看護師長



# 元気と笑顔で…

介護職員  
敷内 佑介

お世話になります。介護職員の敷内佑介と申します。

私が介護の職について約6年。そのうちファイレンツェライフ青山に勤務して約4年が経ちます。

今回のコラムを書くにあたり、思い出されること二つありました。

一つ目は、ファイレンツェライフ青山に面接に来た時のこと。施設に着いてみると、まるでホテルのような建物やロビーの雰囲気ですごく驚きました。

二つ目は、新人職員時代のこと。当時は人と話すことがあまり得意ではありませんでしたので『私にこの仕事を務まるのだろうか?』と不安でいっぱいな毎日を過ごしていました。しかし不安ながらも、仕事を行う際には『元気な挨拶』『笑顔』は絶対ささないということを心がけて職務に

ついておりました。

そんなある日、ご入居者より「アタたいつもニコニコしてるから話しやすいわ」「いつも元気に挨拶してくれるからこつちまで元気出るわ」と声をかけていただいたのです。

当時、ご入居者と接することに不安でいっぱいだった私でしたが、不意にかけていただいた言葉に不安が和らぎ、私が日々当たり前に行っていることが、ご入居者へ『安心』をもっていただけだと感じ、とてもうれしい気持ちになったのです。

あれから約6年が経ちましたが、ご入居される皆様に毎日を『安心・安全・快適』に暮らしていただけるよう、自身が行える第一歩として『元気な挨拶』『笑顔』をこ



れからも変わらず継続して行いながら、精進してまいります。と思います。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

## スタッフコラム ファイレンツェで働く人々

# 営繕作業

— 現在、大規模修繕を進めております —

H 27年 1月  
ボイラー 循環ポンプ交換

H 27年 3月  
玄関前花壇 リニューアル(ユキヤナギ植樹)

H 27年 4月  
浴室 リニューアル及びリフト浴槽導入

H 27年 5月  
プレイルーム 天井貼り替え

H 27年 6月  
空調 共有箇所空調設備入替え

H 27年 6月  
ロビー天井 塗装替え

H 27年 8月  
6階 一部テラス防水工事

H 27年 9月  
売店・美容室・レセプションルーム 改修



ロビー天井



レセプションルーム



中浴室 ユニットバス



リフト浴槽

## 編集後記

一年が経つのは早いもので、山や街路が紅葉に彩られる美しい季節となりました。

ファイレンツェライフ青山も今年で23年目を迎えました。新しく沢山の方がご入居され私たちもより一層、笑顔でお迎えるよう心掛けておりますが、逆に皆様から笑顔や癒しの言葉を頂く事も多く励まされております。

笑顔は幸せを招くといわれていますが、笑いは他者にも移り、心のわだかまりを消してしまふ凄さと潔さがあるようです。「百合通信」の表紙にもありますように、ご入居者、ご家族、スタッフ一同、皆が笑顔のリーダーで、楽しく豊かな生活を重ねて頂きたいと願いを込めつつ、これからも「心を込めたおもてなし」を信条にスタッフ一同力を合わせ頑張っております。

最後に、百合通信の発行にあたり、ご支援、ご協力を頂きました皆様に厚くお礼を申し上げます。編集後記とさせていただきます。

ファイレンツェライフ青山  
百合通信 編集担当